

A C N R E P O R T

発行人 田嶋 猛 (ACN代表)

編集 アクアカルチャーネットワーク事務局

〒810 福岡県小郡市小郡1127 銀田中三次郎商店内

TEL 0942 (72) 4116 FAX 0942 (72) 1911

C O N T E N T S

I. 平成4年度魚種別生産状況

主要魚種は安定供給傾向。進む新魚種開発。—ACN総評

II. 93' WORLD AQUACULTURE SOCIETY (スペイン) 報告

一田中 宏始 (株式会社田中三次郎商店 代表取締役)

III. 新製品紹介

アルテミア・珪藻タンク。

IV. 第5回 水産種苗フォーラム (福岡) 8月26, 27日

実務者200名の参加で展示関係も21社に拡大。

暑中お見舞申し上げます。

より確かな技術・より確かな情報で栽培漁業を応援。

AQUA CULTURE NETWORK

上野製薬 株式会社

九州海洋サービス 有限会社

九州積水工業 株式会社

クロレラ工業 株式会社

ナショナルマリンプラスチック 株式会社

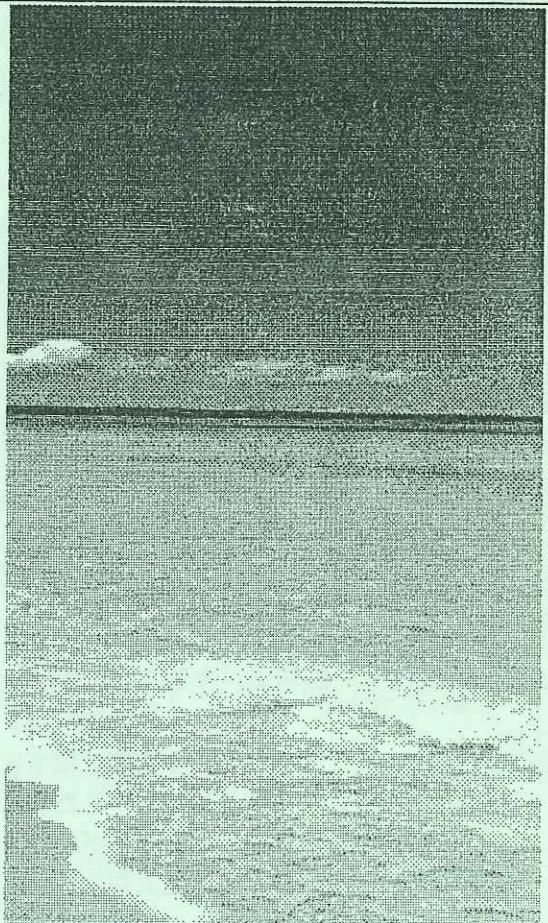
太平洋貿易 株式会社

田中三次郎商店 株式会社

ヒガシマル 株式会社

山一製作所 株式会社

1993年 盛夏



I. 平成4年度魚種別生産状況

—ヒラメ・マダイ・トラフグ・シマアジなど生産状況はどうだったか—

A C N 総評

1. ヒラメ

種苗供給サイドとしては、供給量が大幅に上回り厳しい状況に終わっている。現時点でも在庫が見られ250万尾に及ぶ生産で価格的にも100円内外が主流になりつつある。

ヒラメ種苗生産業者は、68社にのぼるが本年度は公的機関による種苗までも市場に出回るケースもあり今後はますます良質のものを長期に供給する姿勢が求められるだろう。

年内種苗（早期）例年になく多く25円/cmでスタートしたが15円/cmをたちまち切る価格となり、中間育成業者も買い控え傾向にあり注文把握量の池入れとなった。

成魚については500g～1kgサイズの品薄状況にあり価格は上向きかけんである。

又、韓国産種苗については入荷していないが、円高により成魚は輸入継続中である。

2 マダイ

100万尾以下の中小生産業者が昨年の成魚価格暴落の影響で生産を手控えたこともあり品薄傾向にある。低温で出荷遅れもあり15～20円/cmで動き始め、現在最終8～12円/cmで推移している。

例年一億尾強が生産されていると思われるが、本年は大手も生産調整傾向もあり一億尾に及んでいない。

3 トラフグ

早期卵は天然卵より10日早く、天然卵は例年より遅く4月14日ごろに集中し120万円/kgから最終的に10～50万円で推移した。

種苗は5月20日すぎより出荷が始まり4cm up 110～120円/尾スタートし、5cm up 90～100円/尾で推移した。

生産量は例年より若干少ないが2000万尾内外。価格は10円/cmまで下落している。

4 シマアジ

今年度は700万尾弱生産され前年度の倍以上あった。25～6社が取組みその60%が成果を得ている。3月初め90円/cmでスタートしたが25円/cmを切る状況となった。

養殖条件に制約があり市場としては厳しいといえるが、来期は種苗/養殖共増加傾向にある。

5 その他生産魚種

中国スズキ・丈夫で成長力など有望種であるがその生産取組はまだ2社程度の模様であり現状では中国輸入稚魚が増加傾向にある。カンパチ、ヒラマサ、ハタ類、クロダイ、クロソイ、イシガキダイなど小規模であるが有力魚として取組がなされている。イシガキダイは、今年度は22～3社が種苗生産に挑戦したが現時点で4～5社、約10～15万匹を残すのみとなりその確立には今一步課題があるようだ。

■以上、今年の主要魚種の生産状況についてACN独自集計によりレポートしておりますが種苗生産に日夜取り組まれております皆様方の状況はいかがでしょうか。

より正確な情報で種苗供給事業の安定した経営、新魚種への取り組みなどへの支援のためにますますこうした横の連携/情報が必要と痛感致します。

私共の取り組みがその一助になればと願っております。ACNメンバー会社及事務局まで率直なご意見お寄せ下さい。次回は皆様の取り組み、ご意見を紙面へ反映したいと思います。

II. 93' WORLD AQUACULTURE SOCIETY

増養殖資材世界見本市 - スペイン - 参加レポート

田 中 宏 始 (株式会社田中三次郎商店 代表取締役)

本年度で第19回を数える同世界見本市は増養殖関係では世界最大の展示会として知られる。毎年積極的な参加を続けておられる田中氏へ今年の展示会の様子をレポートしてもらった。

■今年のWAS (World Aquaculture Society) は、スペインの南端マラガの隣町トレモリノスで開催されました。

参加社は120社。例年日本

、台湾から各2、3社出展されますが、今回は遠すぎるということもあって東南アジアを含めて当社一社だけとなりました。セミナーでは東水大・渡辺武先生、台湾廖一久先生などの講演もあって好評だったようです。この展示会に毎年出展している業種は、養殖用イケス枠・餌料・ポンプ・書籍・養殖用各種機材・ネット関係専門誌・エアーレーション、アルテミアタンク専門バイオ関連器材等です。

今回は、やはりヨーロッパのメーカーが断然多かった訳ですがアメリカの部品屋さんもしっかり店を開きしていました。北欧はサケの養殖の盛んなせいもあって、大型イケス枠網・計測器 (PH・DO計) などの中にユニークな商品が目立ちました。

■ヨーロッパ人の発想はなかなか鋭くて基礎的なアイデアは日本人が追いつかない面があります。例えばイケス枠など数社が出展していましたが、ポリエチレン (肉厚管) のフレキシブル性を利用した大きなイケス枠にはすっかり感心てしまいました。「北海の荒波に対応できるのは現在このシステムしかない」と胸を張っていましたが、価格、耐久性の面からいっても今後日本においてもこれが主流になるのではと思われます。

そしていつも感心するのが餌料屋さん。どの国のメーカーもブースのレイアウトが大変うまくパンフレットや袋のデザインもセンスがあります。「中味がよければ外装は」という日本流は世界には通じないので感じました。

■レセプションで荒川先生 (海洋動物学研究所) が「日本はこれだけの技術を持っているのになぜ出展しないのでしょうか。どの展示会を見ても日本製は優れていると思うのにメーカーが来ていない。やはり国内で十分めしが見えるということと、費用問題や言語の障害などで後込みしていると考えられるが実に勿体ないことです。

今からは国際性が勝負の時代になるので子供の頃から叩き込まないと、そのうち韓国や台湾のメーカーに先手を取られてしまう可能性もある。」とのお話しでした。

■ところで、私は途中世界最大のスイスのプランクトンネット地メーカー〈ニッタル〉に立ち寄り、既に引退された元副社長のG. C. HOHL夫妻と共にイタリアへ出かけました。

日本人と違って義理で接待することなくいつも心のこもったプレゼントが用意されている。「あなた方が喜んで下さるのが一番の幸せだ」との言葉の一言一言に愛情が溢れている。

世界中を駆け回った超一流のビジネスマン、ホール氏の哲学・人柄・人生観が見て実に楽しく、また有意義な旅となりました。

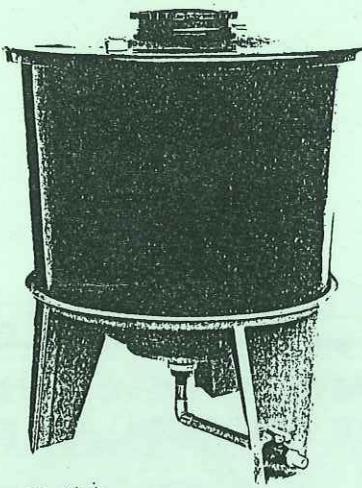
■来年の展示会は20周年を迎えるアメリカの [ニューオリンズ] で盛大に開催されます。中南米やメキシコなどの参加が特に多いようですがACNでも1コマ共同でブースを持ちカタログだけでも展示されてはどうでしょうか。世界への道が開かれるかもしれません。



新製品

■プランクトンネットやアルテミア化槽など種苗生産資材で独自の製品作りで知られる【株式会社田中三次郎商店】では初期餌料生産や幼成管理の効率を工夫した新製品タンクを開発、発売を開始した。

従来品に「光量効率・保温対策・健苗分離」などの機能を考慮した同社ならではの新製品である。



●断熱型アルテミア孵化槽

SBF-1000DF (黒)

■従来のフ化槽に比べ断熱効果抜群の水槽です。

●上部外径1430mm ●テーパー部直径1180mm ●水槽深さ1300mm ●高さ1723mm

¥248,000

セミナー

◆第5回水産種苗フォーラム

主催：クロレラ工業会 協賛：ACN9社

日時：平成5年8月26日（PM2:00）—8月27日（AM11:00）

場所：アークホテル博多ロイヤル

主講演：東京水産大学 渡辺武 教授 【同時開催】関連資材展示会
三瓶湾魚病研究室 水野芳嗣 室長 国内21社展示

■今回で5回目を数える同フォーラムは毎回毎に注目され種苗生産に従事している担当者の恒例セミナーとなっている。

今回も韓国からの参加も含め200名強の出席で開催されるが、同時に開催される関連資材メーカー、商社の展示会も「21社」の展示ブースが決定してこれまでの最大数である。生産技術を支えるハード面の紹介も様々な取組みが各社進展しており種苗生産技術分野での展示会としては注目度の高い内容が期待できる。

2日間に渡るフォーラムで今後の指針となるような、講演・技術交流が残ることと思われる。次号詳細レポート予定。

●サンライトタンク

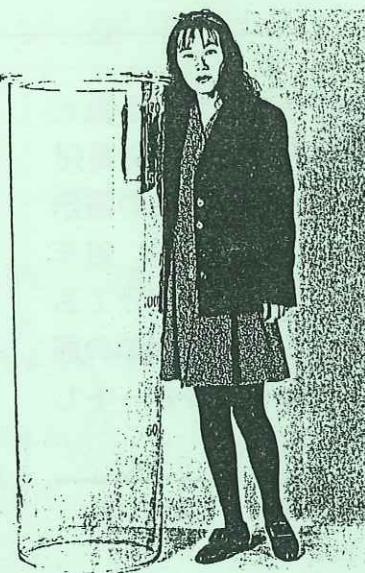
SLP-180

■食物性プランクトン（クロレラ・珪藻類）培養の為のタンクです。

■光（天然光・人工光）を効率良く与えられる構造になっています。

●上部外径500mm ●上部内径450mm ●底部外径410mm ●高さ1370mm

¥50,000



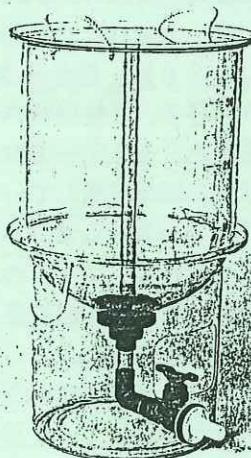
●アルテミア丸底孵化槽

SBF-30

■魚卵のフ化及び甲殻類の幼生管理に最適な水槽です。

●上部外径400mm ●丸底直径350mm ●水槽深さ460mm ●高さ675mm

¥66,000



総発売元

株式会社田中三次郎商店

TEL 0942(72)4116 FAX 0942(72)1911

西38-01 福岡県小郡市小郡1127番地